

これでお金がだいぶ助かるなあ

母は 歯医者に行ったが、帰って来てから、すぐに、僕の髪の毛を 散髪してくれた。家でやった事ないが、家でやった方が、お金は かからない。

時々、僕は自分で、少しづつ、自分の髪の毛を、気付かれない程度に 切っていたので、慣れてることを 母に 話した。

「どおりで、変やなあ」と

思う時が、時々、あったわ。」

と母はあきれた顔で僕に言った。僕のしかめっ面を見て、母は、

「見ないで、それだけできるのは 大したもんや。」

と、笑いながら僕をほめた。母の前で、長くなった部分をさわりながら、自分で切る髪の毛をつまんで、

「このこと、ここを、切ったらええのや。」と細かく指示をした。

初め、母は自信なさそうだったが、

こわごわ、やっているうちに、ついには、「これなら、やれる。」と言った。

横で見ていた京太が母の手さばきを見て、「お母ちゃんは器用やなあ。」と言った。僕は「これでお金がだいぶ助かるなあ。」と思った。

